

農業技術センターニュース

目次	
シソサビダニに対する有効薬剤の探索 .. 1	給液量とハウス内湿度がミョウガ「水やけ症」の発生に及ぼす影響 .. 4
ハイワイヤー養液栽培用ピーマン品種育成の取り組み .. 2	紫外線カットフィルム展張が花色に及ぼす影響 .. 5
キュウリ「グランツ」の光合成特性 .. 3	厳寒期のハウスニラにおける電照の影響 .. 6

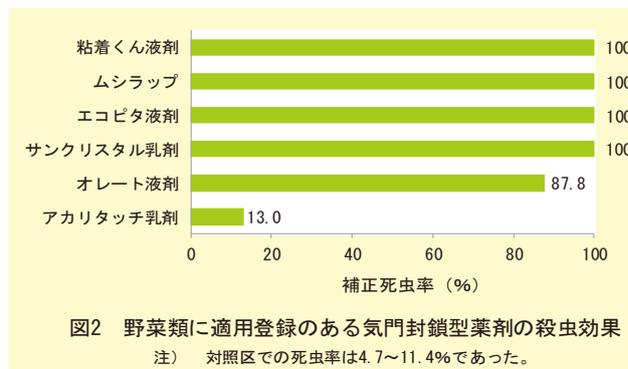
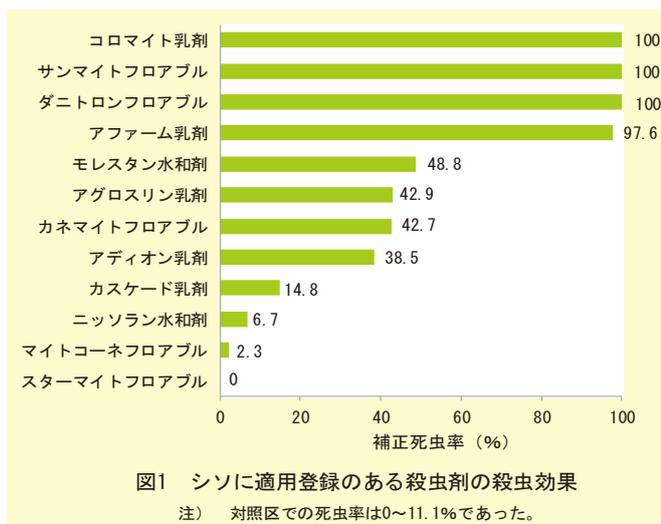
シソサビダニに対する有効薬剤の探索



写真1
シソサビダニ



写真2 オオバに発生したシソモザイク病



シソサビダニ(写真1)はオオバの葉にモザイク状の斑紋を生じるシソモザイク病(写真2)の病原ウイルスを媒介する害虫です。平成25年に国内で初確認された新種の可能性が高いダニで、現在、有効な防除法は明らかにされていません。そこで、オオバに使用できる薬剤のシソサビダニに対する殺虫効果を室内試験により検討しました。

その結果、シソ(オオバ)に適用登録のある殺虫剤では、コロマイト乳剤など4剤で、また、野菜類に適用登録のある気門封鎖型薬剤では、粘着くん液剤など5剤で高い殺

虫効果が認められ、シソサビダニの防除に利用できる可能性が高いことが明らかとなりました(図1、2)。

本研究の一部は、農林水産省の農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「シソサビダニが引き起こすオオバのモザイク病およびさび症の防除体系確立」の中で実施しました。

今後はシソサビダニの発生生態を解明し、生物的・物理的防除も組み合わせた総合的な防除対策を検討する予定です。

(昆虫担当 中平知芳 088-863-4915)